

VOL.3

MONTHLY

UP

Useful
Printing
Information

印刷に関する用語、こぼれ話
業界のトレンドなどの情報を
毎月ご紹介していきます。



次号では、
特殊印刷と加工についてを
予定しています。

SEZAX

本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03(3758)2511(代)	FAX 03(3758)2754
		営業専用	FAX 03(3758)2544
渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル	TEL 03(3400)9211(代)	FAX 03(3409)7315
八丁堀コア	〒104-0032 中央区八丁堀2-19-8 八丁堀ビル6F	TEL 03(5566)1061(代)	FAX 03(5540)8304
取手コア	〒302-0004 取手市取手3-1-1 上田ビル3F	TEL 0297(73)7561(代)	FAX 0297(73)7687
マニュアル企画部	〒146-0092 大田区下丸子3-8-6 プルーハイツ	TEL 03(5482)2751(代)	FAX 03(5482)2777
下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03(3758)2516(代)	FAX 03(3758)8850

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)4970(代) FAX 03(3409)2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)0527(代) FAX 03(3409)6610



この小冊子には環境にやさしい大豆インクを使用しています。

この小冊子は再生紙を使用しています。



しつかり見きわめたい
紙の“目”と“エッジ”。



しっかり見きわめたい、紙の“目”と“コシ”。

大雑把に分類して50以上、細かく見れば数千ともいわれる紙の種類。印刷手法と同様に、紙選びもまた印刷物の品質を決定づける重要なファクターです。ごく薄い1枚の紙、そこに秘められた奥の深い特性の話を、今回はご紹介します。

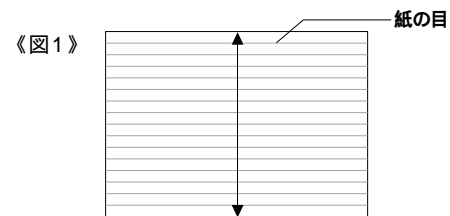
紙にも“目”と“コシ”がある。というと首をかしげる方が多いかもしれません。耳慣れない言葉ですが、紙に関わる業界ではどちらも日常的に使われている用語です。

紙の目とは、紙を抄くときにできる繊維の流れのこと。「縦目」と「横目」があります。試しにお手近の紙を裂いてみてください。比較的まっすぐ裂けたら、それは縦目。ジグザクになったら横目です。ちなみに、強引に言い分を通そうとすることを「横紙破り」というのは、横目の紙を破ろうとすることに由来しています。縦目と横目。これがなかなかのクセ者で、たとえば、目に沿って紙を折ると仕上がりはシャープになりますが、流れ目と直角に折ってしまうと、細かなシワが生じたり、紙の表面が割れたりして美しく仕上がりません。また、紙の目に垂直な方向(図1)は、湿気や圧力によって伸縮しやすいため、これも注意が必要です。

さて、この紙の目と密接に関係しているのが、紙のコシ。いわゆる剛性です。図2のように力を加えたときの、紙の反発力といえばわかりやすいかもしれません。紙の原料や厚みによってコシの強さは千差万別ですが、紙の目の方向によっても大きな差が生じます。具体的にいえば、繊維の流れ目の方が、その直角方向より2倍くらいコシが強いのです。紙

の目に沿って美しく折る。コシを活かしてしなやかに湾曲させる。このように紙の目やコシをしっかり見きわめて使うのが、紙との上手なつきあい方です。

印刷時の品質。湿気による紙の変形。折りやノリづけなどの加工。印刷物の用途…。紙の目やコシは、これらに関係のあるデリケートな要素です。私たちセザックスは、紙の厚みや質感、白さ度などはもちろんのこと、こうした目に見えない紙の特性まで考慮。それぞれの印刷物が活かされるシーンを想定して、紙の視点からも印刷物の品質を高める努力をしています。



紙

の特性について
ここでお話してきたのは
まだひと握り。
紙を上手に活用するためにも
よりくわしい内容については
弊社営業に気軽に
お問い合わせ
ください。